

の大学では、神学・医学・法学の分野において、これらの理性的な研究成果が人びとの痛みに寄り添うものとして生かされるように求



司会・山下智子氏
(同志社女子大学)



西原廉太氏

最初に、西原先生はキリスト教大学に与えられた使命として、真理を探求することの必要性を説かれた。その真理は、絶対的な搖ぎない答えとしてそこにあるものではなく、我々は旅人のように真理を求め続けなければならぬ。12～13世紀に始まつたヨーロッパの大学では、神学・医

理を求めるために、西原先生は、西原廉太先生よりご講演を伺い、この課題を共有することができた。

8月29日(金)、オンライン開催(参加者33名)

今年度も、キリスト教大学に着任された新任教員を対象に研修会が行われた。キリスト教を教育の理念とする

大学において、私たちは何を大切にすべきなのだろうか。教育同盟の西原廉太先生よりご講演を伺い、この課題を共有することができた。

最初に、西原先生はキリスト教大学に与えられた使命として、真理を探求することの必

要性を説かれた。その真理は、絶対的な搖

ぎない答えとしてそこにあるものではなく、我々は旅人のように真

理を求めるために、西原先生は、西原廉太先生よりご講演を伺い、この課題を共有することができた。

9月1日(月)、東北学院中学校・高等学校にて開催(参加者16名)

東北・北海道地区 第10回 新任教師研修会

キリスト教学校で働くこと

最初に、西原先生はキリスト教大学に与えられた使命として、真理を探求することの必要性を説かれた。その真理は、絶対的な搖ぎない答えとしてそこにあるものではなく、我々は旅人のように真

理を求めるために、西原先生は、西原廉太先生よりご講演を伺い、この課題を共有することができた。

最初に、西原先生はキリスト教大学に与えられた使命として、真理を探求することの必

要性を説かれた。その真理は、絶対的な搖

ぎない答えとしてそこ

あるものではなく、

我々は旅人のように真

理を求めるために、西原先生は、西原廉太先生よりご講演を伺い、この課題を共有することができた。

キリスト教大学とは

第12回 大学新任教員研修会

キリスト教大学とは

められていた。このことは現代のキリスト教大学における建学の理念として、世界・社会・隣人のために奉仕するという発想に繋がっていると思われる。

西原先生によれば、そのような奉仕をするために、我々はこの世界の「物語」に耳を傾けていく必要がある。

ITの時代となつた現代では無数の、そして様々な情報が飛び交っているが、それらはやがて消費されるものにすぎない。しかし、我々の教室での学生との出会いや交流、議論には、その場でしか味わうことのできない、かけがえのない物語が存在する。キリスト教大

学では、こうした物語に命が吹き込まれるこにより、多様な一人ひとりの存在が大切にされるという。

このような貴重な示唆を与えられた講演に

9月の仙台でも、当

日は残暑が厳しく特に最寄りの駅から10分の行き返りの道中は大変であったと察しました。けれども朝にお会いした時よりも参加された先生方の少し元気になられた様子を見つづ、お見送りしました。今後とも礼拝を土台と

9月の仙台でも、当

日は残暑が厳しく特に最寄りの駅から10分の行き返りの道中は大変であったと察しました。中道基夫院長(関西学院)による会場挨拶で温かく迎えられ、関嘉寛教授(関

西学院大学社会学部・ボランティア活動支援センター・ヒューマンサービス支援室長)と岡秀和氏(同支援室専従コーディネーター)による講演が行わ

2日目は、中野敬一氏(神戸女学院大学学長)の司会のもと、参考者3つの分団に分かれ、討議を行い、全

体報告を通して各校の取り組みと課題を共有しました。閉会礼拝で落合建仁氏(委員長、金城学院大学)が

2日目は、中野敬一氏(神戸女学院大学学長)の司会のもと、参考者3つの分団に分かれ、討議を行い、全

体報告を通して各校の取り組みと課題を共有

